

管理職になり、6年がたちます。それまでは管理職になりたい」という

思いとは遠くかけ離れたところで、仕事に注力していました。当時の私は、仕事にとってもやりがいを感じ、さまざまなプロジェクトに挑戦したいと思

う一方、自分が管理職として組織を率いて人を育てることがイメージできず

にいたのです。また、会社のリーダーの多くは私とは違い、公私ともに活動的でエネル

ギーに満ちあふれ、組織やプロジェクトのビジョンを堂々と語るタイプです。目の前の仕事をこ

ろものだと頭では分かっていました。しかし、管

理職になると自分がすべたのが、その時の上司で

女性管理職が語る

巻き込み、信じ、感謝する

なかしま・しずか 2000年大学卒業、電力会社入社。05年P&Gジャパンに転職。購買部でさまざまなサービスや物品の購入を担当。フィリピン勤務を経て、22年1月より現職。



中島 静香氏

の役割を果たすことが、管理職として重要であることを学んだのです。

学びの2つ目は、「チームの成長が自分の成長にもつながる」ということを学んだのです。

それまでの私は常に自分が仕事の中心にいました。自分がプロジェクトをリードしたい、自分のためでもありますが、それだけではありませ

ん。チームメンバーと一つのことを達成した瞬間が増えるにつれて、仕事をするうえで喜びややりがいも増えてい

きます。そして周りに感謝する。そうすることでどのような挑戦も成功すると信じています。

管理職になることに、ためらいや不安を感じている仲間や社会人の方に届きたいメッセージがあります。恐れずに果敢に挑戦してみるのも悪くはないということです。